

2019～2021年度 厚生労働省行政推進調査事業（指定研究） 大規模イベント時の健康危機管理対応に資する研究

研究代表者：国立保健医療科学院 健康危機管理研究部 齋藤 智也
 分担研究者：東京大学医学部 公衆衛生学 富尾 淳 大阪大学医学部救急医学 嶋津 岳士
 国際医療福祉大学医学部 公衆衛生学 和田 耕治 東京大学医学部救急科学 森村 尚登
 国立感染症研究所 感染症疫学センター 松井 珠乃
 国立国際医療研究センター 国際医療協力局 市村 康典

背景 目的

- オリパラ等大規模国際イベント（マスギャザリングイベント）開催時には、感染症をはじめ様々な健康危機の発生リスクに備える必要。健康危機への対応能力（ヘルス・セキュリティ）の強化の機会としても重要。
- 計画的な対応能力の強化、事後検証、遺産化が求められている。
- 公衆衛生危機管理の観点から俯瞰的に整理・検証し、日本から世界に経験と教訓を発信する。

